

**平成30年度
第1回地域振興会議会長会議事概要**

日 時：平成30年8月10日（金） 14：00～15：50
場 所：しかの心 ほか

〔視察先〕1名

NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 小林副理事長

〔本庁関係〕2名

企画推進部 田中部長

企画推進部地域振興局 安本局長

〔各地域振興会議〕16名

会 長：森原会長(国府)、南部会長(福部)、竹田会長(河原)、西川会長(用瀬)
小谷会長(佐治)、池長会長(気高)、田中会長(鹿野)、高橋会長(青谷)

総合支所：竹氏国府支所長、平戸福部支所長、遠藤河原支所長、沖田用瀬支所長
西尾佐治支所長、武田気高支所長、徳岡鹿野支所長、山本青谷支所長

〔事務局〕4名

地域振興局地域振興課 田中次長、国森課長補佐、平井主事、小野主事

【会議次第】

- 1 開 会
- 2 あいさつ
- 3 「NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会」の取組について
- 4 意見交換
- 5 民泊の取組について
- 6 空き家再生、古民家活用事例の見学
- 7 閉 会

議 事 概 要

1 開 会 (1 4 : 0 0)

2 田中部長あいさつ (1 4 : 0 1)

3 「NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会」の取組について (1 4 : 0 5 ~ 1 4 : 4 5)

空き家の再生や古民家の活用等について、小林副理事長より説明

4 意見交換 (1 4 : 4 6 ~ 1 5 : 0 1)

(青谷 高橋会長) 管理する空き家のエリアはどの範囲か。

(小林副理事長) 旧鹿野町内すべて。勝谷地区が人気。また温泉付き物件も人気。

(河原 竹田会長) 空き家はもうないのか。

(小林副理事長) まだあるが、使えない状態のものもある。別荘地であれば県外の持ち主が多く、貸し出すことに対して不安に思っている方もいる。

(河原 竹田会長) 税金の関係はどうなっているか。

(小林副理事長) 固定資産税は所有者に払ってもらうが、比較的安く貸している。また、大きな家は一人で使うのが難しいので、使い方も検討している。

(河原 竹田会長) 市には空き家に対する補助制度はあるのか。

(田中次長) 移住定住の関係ではあるが、空き家バンクに登録された空き家の改修費用や家財道具の処分費用に対する補助制度がある。

(小林副理事長) 家賃の価格帯は2～3万円台が多い。借り手からすれば借りやすいのではないのか。

(河原 竹田会長) 修繕が必要になった場合、借主が直すのか。

(小林副理事長) 基本的には借主が直すか、状況によって臨機応変に対応する。

(河原 竹田会長) しっかりとした取組をやっておられると思う。屋根や壁の色が統一されているが、どのように決めたのか。

(小林副理事長) 街並み協定に基づいている。

(気高 池長会長) 耕作放棄地の取組は必要性を感じる。何歳ぐらいの方が携わっているのか。

(小林副理事長) 60～70代ぐらいの方が7名で活動している。また農林水産省の支援も受けている。

(用瀬 西川会長) 国の助成は中山間地域関係か。

(小林副理事長) 農林水産省所管の「農村集落活性化支援事業」である。事業期間は5年間であり、いちじくや栗を栽培している。

(青谷 高橋会長) 移住者の中には、例えばどのような職業の方がいるか。

(小林副理事長) 鳥の劇場があるので、劇団のスタッフとして入ってこられる方がいる。

(青谷 高橋会長) 移住者の中で農業者はいるか。

(小林副理事長) 4件ある。

(青谷 高橋会長) 青山学院大学が鹿野に拠点を置くことになった経緯は。

(小林副理事長) 以前から大学が鳥の劇場及び鹿野学園と関わりがあり、拠点を探しているとの相談があったことがきっかけ。

5 民泊の取組について (1 5 : 0 2 ~ 1 5 : 1 2)

民泊に関する制度の概要及び本市の取組等について、事務局より説明

(質問等なし)

6 空き家再生、古民家活用事例の見学 (1 5 : 1 3 ~ 1 5 : 5 0)

7 閉 会 (1 5 : 5 0)